

「昔話の魅力」

「昔話とは何か」「自然暦・年中行事と昔話」「人の一生と昔話」「妖怪変化と昔話」についてテーマごとに学びます。毎回最後にゲストの語り手に昔話(テーマに合わせたもの)を語っていただきます。

■日時 2月7日・14日・21日、3月7日の金曜日、午前10時〜正午(全4回)

松林分館界限

太子堂

第一小学校銀座通り側の入り口近くに「太子堂」があります。

堂には約30センチメートルの木彫彩色の聖徳太子が安置されています。この「太子堂」には福生全域の手先でものをつくる職人で、聖徳太子の神霊をなぐさめ祈願する「太子講」が明治のはじめから続いています。1月と9月の22日の日が講の日で軒に横幕を張りお供えや灯明、紙を細長く切った幣束(へいそく)などを供え市内の永昌院の僧侶が経を上げます。

堂の敷地は石柵で囲い、その石には寄進者の名が刻んであります。講員からお話を伺ったところ、青梅や狭山の地名もあり、昔は広い地域

■場所 公民館松林分館

■講師 米屋陽一氏(國學院大學文学部兼任講師、日本民話の会運営委員)

■対象 市内在住、在勤の成人の方

■定員 先着20人

■申込み 募集中



で講をしていただくことが何われるという事です。現在は約20人の職人で講をおこない、仕事の繁栄、身体の健全、交通安全などを皆で願います。

参考文献 福生市史



写真 平成25年9月22日の「太子講」。僧侶がほら貝を吹き、始まりました。

寿生きがいひろば



福生市民会館小ホールでの「人生うたい語りのつどい」(12月13日(金)発表)のステージを目標に「楽しくミュージカル曲を歌おう」の講座を開催しました。

松林分館での講座に参加して

松永 あき

6月の『広報ふっさ』に「楽しくミュージカル曲を歌おう」(英語)の講座が松林分館で始まるという記事が目にとまりました。英語?大丈夫かなア、昔々習った英語は頭に残っていないけど・・・でも唄ってみたい!少しサビついた頭に潤滑油を注いで大きな声で唄ってみたい!と集まった20数名の善男善女、講師は笑顔の美しい若い女性、習う私達の半分位指導が始まります。まず声の出し方、腹筋の使い方から教えてくださりなんの心配もありませんでした。

月二回の講座は楽しみでホントの意味で生きがいを感じました。田村講師は英語の発音、特に唄うときには話す時と違う読み方?日本語でなじみやすい言葉に置き換えて解りやすく指導してくださり、譜面も読めない私の質問にもわかりやすく答えてく

ださり、7月〜12月までの15回の講座で日本語の歌が一曲、英語の歌はなんと四曲も覚える事が出来ました。



そして、なんと12月13日には市民会館の小ホールで発表会をしてしまいました。舞台上で足がもつれるのを心配しながらステップを、そして英語の唄の中から二曲は暗譜で唄いました。これはとても大変でした。内緒ですが英語に日本語でフリガナをつけて覚えられました。舞台上で私達の気分は昔々に戻って思いつき唄いました。人数の少ない男性でしたが皆素晴らしい声の持ち主でキチンと声が響いていましたし、私はアルトですがソプラノの女性がたくさんいました。そののびやかな高音にウットリとしてしまいました。声には年齢が出ないのだと改めて実感しました。

あの楽しさを生きがいとして続けていく為に今年からはサークル活動になります。公民館の協力をいただき、続けていきたいと思えます。生きがいを持つことのできる場所を教えてください。写真「人生うたい語りのつどい」

松林分館の事業



「思わず読みたくなる！
たよりのチラシの作り方」

PTAや町会、サークル活動の役員などになって、たよりのチラシ作りに頭を悩ませていませんか？

専門家の技を聞き、手にとってもらえるチラシ、読んでもらえるたよりの作りを学んでみませんか？

■日時 2月8日(土)・15日(土)・22日(土) 午前10時～正午(全3回)

■場所 公民館松林分館

■講師 石井栄子氏(書籍等企画編集デザイン、ライター、編集者)

■対象 市内在住・在勤の方

■定員 先着25人

■申込み 募集中

【まちづくりの講座】

「住んでよかったー」と思えるまちづくりを考えます

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。

福生市の魅力について講師からヒントをもらい、住みたくなる「まち」について考えてみませんか。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあふ講座です。



①自然環境・景観等を生かしたまちづくり
■日時 2月12日(水) 午後7時～9時

■講師 栗原崇氏(環境シンクタンク)

■講師 栗原崇氏(環境シンクタンク) コンサルタント会社部長代理、一級造園施工管理技師)

②『住んでよかった』と思えるまちづくり
■日時 2月19日(水) 午後7時～9時

■講師 細野助博氏(中央大学総合政策学部教授)

③まちづくりはひとつくり
■日時 2月26日(水) 午後7時～9時

■講師 松田恵示氏(東京学芸大学教育学部教授)

◎「①～③のコース」とも

■場所 松林分館大集会室

■対象 市内在住、在勤の成人の方

■定員 先着20人

■参加費 無料

■申込み 募集中

講座の申込みは、公民館

松林分館

☎5552・3624へ。

初心者腹話術教室に参加して 渡辺 みずき

私が腹話術を始めたのは、福生市民会館のポスターを見たのがきっかけでした。仕事も保育士で、子どもたちを楽しませたいと思って始めました。

始めてみると口を動かさないうで人形と話すのはとても難しく苦戦していました。でも、一緒に受けている仲間の先輩方がとても優しく失敗しても励まされ、先生から色々なアドバイスも頂き楽しく受けることができました。台本を作るのは更に難しいけれど人形を自由自在に好きなように言葉を作り、動作をつけるのが腹話術の良い所だと思います。今回初めて「だれでもなんでも展」に参加し、緊張したけれど仲間間の励ましやお客様の温かい雰囲気の中で最後まで楽しくできました。見に来てくれた友だちは、「人形が話している時も口が動いていたよ。」とアドバイスをしてくれました。

今では仲間同士切磋琢磨しながら自主練習をし、意見を言い合い刺激し合って勉強しています。厳しいアドバイスも成長の一歩なので大切なことだと思っております。

また、腹話術をとおして仲間と絆が深まり松林分館サークル「きもの熱愛会」や、「福生アマチュアマジッククラブ」にも入り、充実した日々を送っています。腹話術が無かったらこのような交流も充実感もなかったと思います。本当に感謝しています。

身につけたマジックや腹話術を披露しに保育園などにも訪問に行くようになります。今度老人ホームにも行きます。子どもからお年寄りまで笑顔になってくれるのを見ると、私まで幸せになります。私の生活に潤いを与えてくれた松林分館、お世話になっている先輩方、みんな大好きです。地域の温かさを改めて感じることができました。今後も技術を身につけ、色々なところに訪問して地域交流を図り、愛する福生で社会貢献をしていきたいと思っております。



写真 「だれでもなんでも展」で学習の成果を発表しました。